

# 適切ながん治療 考える

熊本市で肥後医育塾 県内4医師 解説



「第76回肥後医育塾」で、質問に答える医師ら＝熊本市中央区

市民向けの医療セミナー「第76回肥後医育塾」が30日、熊本市中央区の市医師会館であった。県内の医師4人が、患者の年齢や体力に合わせた適切ながん治療について解説した。

肥後医育振興会、化学及血清療法研究所、熊日の主催。くまもと森都総合病院の鈴木仁院長、熊本大大学院生命科学部消化器外科学講座の宮本裕士准教授らが登壇。約90人が聴いた。

同研究部呼吸器外科・乳腺外科学講座の鈴木実教授は、高齢化と喫煙の影響で増えている肺がん患者について「進行期に発見されるケースが多く、死亡率も高

い」と説明。がん細胞を狙って照射する最新の放射線治療や、薬の副作用対策を紹介し「生活の質(QOL)の維持・向上につながっている」とした。

熊大病院乳腺・内分泌外科の山本豊教授は、高齢者の乳がんの特徴を解説。「脱毛を抑えたい」など、患者

の価値観に合う複数の治療方針を示すことや、退院後は地域全体で診ていく体制づくりの重要性を強調した。

セミナーの映像は8月末から、動画投稿サイト・YouTubeの熊日公式チャンネルで公開する。

(澤本麻里子)